

コンプライアンスについて

社会からの期待や要請に適応するコンプライアンス経営を徹底します

大真空グループでは、関係する法令や社内規程を遵守することはもとより、社会からの要請や期待にかなった企業活動を行います。また、社員一人ひとりが誠実かつ公正な事業活動を行い、社会から信頼され企業の継続的な発展および持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指していきます。

コンプライアンス教育の実施

コンプライアンス経営の基本となる法律知識やビジネスシーンにおける健全で実践的な判断基準を有する人材の育成が、コンプライアンスをより効果的に推進していくために重要であると考えています。コンプライアンスの重要性を社員へ周知し、さらなる意識と知識向上のためコンプライアンス教育を会社の人材育成プログラムに盛り込むなど、入社時教育や上位等級昇格時、管理職登用時などさまざまな形で実施しています。

情報セキュリティの確保

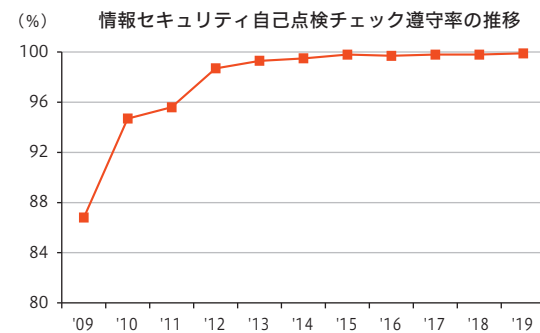
事業活動を正常かつ円滑に行う上で、情報セキュリティの確保は最重要課題の一つであり、社会的な要請は今後もう層高まっていくものと考えています。

大真空グループは信頼される企業であり続けるために、情報資産の保護を目的とした「情報セキュリティ基本方針」や各種社内規程を定めており、情報の適切な取り扱いに向けたルールやシステムの整備と改善に取り組んでいます。

また、サイバー攻撃への対応を目的とした「サイバーセキュリティ対策規程」を定めており、脆弱性対策、技術的対策、人的対策、脅威の監視など、サイバー攻撃への適切な対策を行っています。

社員への啓発活動としては、情報セキュリティ自己点検チェックの定期的な実施による意識の向上に努めており、その結果からも社員の情報セキュリティに対する意識は年々高まっています。

情報セキュリティの確保には技術的な対策だけでは限界があり、社員一人ひとりの意識が重要であることから、今後も早期検出と対応の強化をテーマとしたルール作り、社員教育による人的対策の強化も進めてまいります。



安全保障貿易管理

大真空グループは、国際的な平和および安全の維持、国際収支の均衡維持ならびに外国貿易および国民経済の健全な発展を目的に定めた「外国為替及び外国貿易法」などの輸出入関連法規を遵守し、顧客および社会から信頼される企業を目指します。輸出関連法規遵守のための社内規程「輸出規制管理規程」を制定し、経済産業省に届出するとともに、当該規程の運用に関して内部監査部門による定期的な監査の実施や関連する部門に対する教育を実施するなど、安全保障貿易管理の徹底に努めています。

知的財産権の尊重

事業を安定して継続していくために知的財産活動は重要であることを認識し、事業展開に応じた積極的な知的財産活動を推進しています。自社技術を知的財産化する活動については、中長期的な視点を基本とし、事業展開に応じてグローバルな対応を進めるグローバル戦略と、製造ノウハウなどの有用情報を秘匿化するクローズ戦略とを使い分けた知的財産活動を推進しています。また知的財産活動をより活発にするために、技術部門との特許戦略協議や社内教育を行うとともに、各種知財関連表彰制度を充実させることにより、発明者のインセンティブ向上にも努めています。さらに第三者の知的財産権を技術部門が逐次監視するシステムを構築／運用することにより、第三者による知的財産権侵害を防ぐ体制を整備しています。

コーポレートガバナンスについて

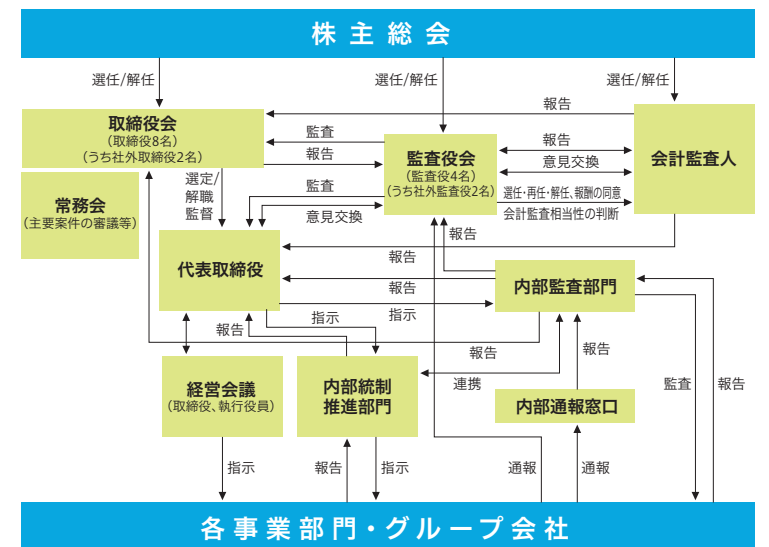
経営環境の把握や変化に迅速かつ的確に対応できる意思決定と適法かつ妥当な業務執行が可能な経営体制およびステークホルダーに対して公正で透明性を高めた、国際競争力のある経営を目指します。

企業活動を支えているすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ長期的・継続的な株主価値の最大化を実現するため「企業価値の向上」に力を注ぐと同時に、社会的に信頼される企業を目指して「コーポレートガバナンスの強化」が必要と考えています。なお、当社のコーポレートガバナンス体制を明確にし、実効的なコーポレートガバナンスを実現させることを目的に、「大真空コーポレートガバナンスガイドライン」(URL: <https://www.kds.info/company/csr/>)を制定しています。

コーポレートガバナンス体制

経営上の基本方針・重要事項の決定機能および代表取締役の職務執行の監督機能としては、会社からの独立性と財務・会計・法律の分野において専門的知見を有している社外取締役複数名を含む取締役会を、取締役の職務執行の監査機能としては監査役・監査役会をそれぞれ経営体制の基本としています。

また、監査役につきましては、取締役会その他重要な会議に出席し、独立・中立的立場から適切な意見を述べることで経営監視の実効性を図っています。さらに会計監査人を設置し、会計に関する正しい経営情報を提供し、公正不偏な立場から監査が実施される環境を整備しています。



● 新任取締役メッセージ

当社の社是である「信頼」を根幹とし、三つの信頼(信頼される人、信頼される製品、信頼される企業)で着実にものごとを実践することが社会的責任であると考えています。高精度化するニーズにお応えするため、水晶原石から製品までの垂直統合された組織による優位性を活かし、高度な製品開発／製造技術力で、より良い品質を作り出すことにより水晶製品におけるものづくりを追求しています。これらのものづくりには、多量の水資源、電力が使用されていることから、さらなる削減を目標とし、社会の発展と維持に貢献してまいります。

川崎 正志

当社の経営理念である“世界中、すべてのお客さまに「信頼」でお応えする。”が我々の事業活動の礎であり、この理念に則った事業活動の継続が、ステークホルダーの皆さまから「信頼」していただける企業につながると考えています。

水晶デバイスは「産業の塩」と呼ばれ、さまざまな製品でご使用いただいています。お客さまはもちろんのこと、社会の発展、地球環境に多大な影響を及ぼす当社の責任の重さを常に感じながら、ステークホルダーの皆さまの声に耳を傾け、サステナブル社会の実現に貢献してまいります。

長谷川 晋平

地球環境や社会の持続性に対する危機感が高まり、企業が負う社会的責任、経営責任、社会への説明責任だけでなく、コーポレートサステナビリティの推進が必要となっています。企業側からの視点だけでなく、さまざまなステークホルダーの皆さまとの関わりの中で、社会へいかに貢献していくか皆さまのご意見をいただき、また、環境・社会・経済への配慮においても常に考え、ステークホルダーの皆さまの信頼にお応えできるよう、企業価値の向上に努めていきたいと考えています。

広嶋 敏郎



左より 川崎 正志、広嶋 敏郎、長谷川 晋平